

知事と区市町村長との意見交換（八王子市）

令和1年10月1日（火）

17時10分～17時30分

○行政部長 それでは早速でございますが、意見交換を始めさせていただきます。冒頭、知事から一言お願いいたします。

○知事 どうも、お忙しいところ石森市長にはわざわざお越しいただきまして、ありがとうございます。ちょうど一昨日、八王子流鏑馬の方に伺いまして、はじめませという号令だけかけて、そのまま失礼してしまいました。的をうまく射抜いたということによろしいですか。

○八王子市長 はい。

○知事 今日は長期戦略の策定ということで、今ビジョンづくりをまず行っている最中でございます。八王子の未来について、こういったことをやってみたい、東京都とどういふふうな連携をしていくか等々、お話いただければと思います。

限られた時間ではございますが、どうぞよろしくをお願いいたします。

○行政部長 石森市長、よろしくをお願いいたします。

○八王子市長 こんにちは。今、知事から冒頭、八王子流鏑馬のお話がありましたけども、非常に天候を心配しておりましたが、予想に反して天気になりまして、ちょっと私も知事にお会いできませんでしたが、無事終了したようでございます。お越しいただきまして、ありがとうございます。

まずはじめに、私どもでブランドメッセージというのを作成したんですね。こちらに、画面に出ておりますけれども、ちょうど2年前の今日が市制施行100周年の記念の時でありました。その際には、記念式典には知事もお越しいただいて御祝辞をいただきまして、大変ありがとうございました。

2年間に渡って250を超える記念事業、実施をいたしまして、その中でロゴマークとキャッチフレーズ、これを使って様々な事業を展開したんですね。ここで100周年が終わって、新たな100年に向けて、この八王子の魅力発信の一つとして、ブランドメッセージを作成しようということで、今回市民の皆さん手づくりと言いますか、多くの方に集まっていたいて、まずは4つの案を作成していただき、その後市民の皆さん2万5,000人の方から投票をしていただき、この「あなたのみちを、あるけるまち。八王子」というのを決定をさせていただきました。

八王子は御案内のように高尾山をはじめとする豊かな自然、あるいは学園都市であったり、また、多くの企業も集積する、そんなまちでもございます。非常にその選択肢が広い、住むうえでもバランスの取れた、そんなまちだと思っております。その魅力をできるだけ多くの方に発信しようということで、このブランドメッセージを作成いたしました。

「あなたのみちを、あるけるまち。」ということですが、この文字にこだわらずに、いろいろこの文字を変えて、例えば2人の道があるけるまちとか、市民の皆さんにいろん

形で、企業を含めて使っていただこうと、そんな思いがございます。

下は JR とのコラボレーションということで、ロゴマークには八王子の八の字のところに、ブーツを履いているんですね。我々は、ここにロゴマーク、ピンバッジで使っているんですけども、こんなことで八王子の道をここから歩こうと、そんなことで今様々な PR をしております。

まずは東京都におかれましても、どこかで八王子を取り上げる際にはぜひこのブランドメッセージも利用していただければなと思っております。

本日は 2 点の要望をさせていただきます。まず 1 つ目が日本遺産認定にかかる東京都との連携、そしてもう 1 つが北西部幹線道路の事業推進。この 2 点でございます。どちらの要望につきましても、本市のみならず今後とも多摩地域の魅力を高める重要な取組であろうと、そのように考えております。

まず 1 つ目の日本遺産についてであります。本市には写真にもありますように、日本 100 名城に選定された国史跡八王子城跡、あるいは続日本 100 名城の国史跡滝山城跡がございまして、毎年国内外から多くの観光客が訪れる、高尾山にも都指定有形文化財の薬王院飯縄権現堂や、天然記念物の飯盛杉等、数多くの文化財が八王子にはございます。

既に御存じのように、現在本市では地域の歴史的魅力や特色を通じて、日本の文化、伝統を語るストーリーとする日本遺産を目指しておりまして、重要施策の一つとして今取り組んでおります。

この日本遺産が認定されれば、都内唯一の日本遺産になる可能性が高いわけでもございまして、本市は多摩地域のみならず東京都にとっても魅力向上に繋がるものと、そのように考えております。

これまでも東京都教育庁には申請内容の検討、あるいは文化庁への事前相談等、様々な御協力をいただいておりますけれども、引き続きこちらもよろしくお願いをしたいと思っております。

この日本遺産には認定を受けた後の取組が、非常に重要となるんですね。有形、無形の文化財にも、地域が主体となって整備、活用して、国内外へ発信することで、地域の活性化に繋げていく、そのような必要がございます。

日本遺産認定ストーリーの構成文化財の一つとなります。国史跡滝山城跡の大部分は都立滝山公園となっております。東京都におきましても都立公園の大改革を重点施策方針の一つとして考えておりまして、都立公園の魅力向上を図っていくと、そのように聞いております。

この都立滝山公園の史跡を活かした整備につきまして、平成 25 年に本市の教育長から要望を出させていただいておりますが、改めてこの国史跡滝山城跡の文化財としての整備と活用をお願いを申し上げます。

また、都立滝山公園に隣接しております、多摩川沿いのあきる野市境の高月地区というのがございますが、ここでは都内最大級の水田地帯がございます。ここで採れたお米でつくった地酒の製品化や、酒蔵づくりを進める NPO によるプロジェクトも現在進行していま

す。本市と都が連携協力して整備を進めている産業交流拠点の整備にも関連することになりますけれども、この日本遺産をこれら多摩地域のポテンシャルを活かした東京都のMICE誘致活動や、エクスカージョンに活用する等、連携をとり、より大きな効果を生むようにしていきたいと、そのように考えております。

続いて2つ目の北西部幹線道路の推進についてでありますけれども、この図ちょっと見づらいんですけども、首都圏における高速道路ネットワークと多摩地域との位置関係を示したものであります。本市が位置する多摩地域は区部と比較して広域でございます。地域全体の行政サービスやさらなる活性化を考える時に、インフラの基盤となる道路面からの取組が極めて重要なものとなります。

多摩地域において基軸となるのは中央道と圏央道の高速道路でございます。この2路線に加えて、3つのインターチェンジを有する中核地八王子が多摩のリーディングシティとして、この道路インフラを活かして多摩地域を牽引していかねばならないと考えております。

しかし一方、この図から見てとれるように、多摩地域におきましては高速道路ネットワークが限られた部分にしかないという状況でございます。東京都の都市づくりのグランドデザインには、人、物のスムーズな移動のための道路ネットワークの形成の重要性が標榜されておりますけれども、多摩地域の活性化を考えるうえでは、2つの高速道路と一体となつて機能する骨格幹線道路ネットワークの整備推進が急務であると考えております。

そのような中で本市内におきましては、圏央道には八王子西インターチェンジと中央道の八王子インターチェンジ間を結ぶ形で、延長約8.8キロメートルの骨格幹線道路である北西部幹線道路が計画、決定をされております。

この路線はインターチェンジ間を結び付け、さらに日野市方面へのネットワークが拡大していきます。また、現在市内では、路線両端部において、東京都西南部の流通業務施設に関する整備方針にもあります川口物流拠点整備と、インター北地区複合拠点整備事業が展開されております。

このような道路ネットワークの拡充や、各拠点事業は本市に留まらず、周辺土地も含めた広域的な効果をもたらし、東京都の活力向上に資するものと考えております。

そしてこの道路の中心部分となる、約6.5キロメートルの区間は東京における都市計画道路の整備方針第4次事業化計画において、東京都施行の優先整備路線として位置付けられております。

ぜひとも、これらの多摩地域の発展のために、ひいては活力とゆとりのある高度成熟都市、東京のさらなる発展のため、北西部幹線道路の早期の事業化を図っていただくことを要望したいというふうに思っております。私からはこの2点、お願いをさせていただきました。

○知事 ありがとうございます。お話は2点あったかと思えます。まず日本遺産の認定をとということで、地域の活性化に繋がることが期待されるところであります。滝山城跡というのが都立の公園に入っているということでございますので、これまでも林の整備や斜面

の保全等、東京都として、また解説板を設置する等、整備をおこなってきたということについては、御承知のとおりだと思います。八王子城跡についても、皆様方と連携しながら協力していきたいと思います。

それから MICE の拠点としての御計画等があるかと思いますが、滝山城跡それから美術館等、そういった文化的な施設も含めての MICE 参加者向けツアー等、開発等に取り組んでいると伺っております。こうした MICE の受け入れに向けました取組に対しても、東京都としまして八王子の活性化に繋がるものということから、進めていきたいと考えております。引き続き支援してまいりたいと思います。

それから 2 点目の北西部の幹線道路については、既に御承知のように、第 3 次の際は市が施行されるということでしたが、第 4 次の事業計画で約 6.5 km ですか。この間ね。こちらの方が都の施行に切り替えたところをごさいますして、さらには優先整備路線と位置付けております。まさに今、早期事業化に向けての取組を行っているところでございますので、多摩地域の交通の利便性の確保ということにこの第 4 次の事業計画が実施されますと、それに資するものではないかと思っております。

また、先ほど冒頭にありました日本遺産については、まさしく文化庁で八王子選出の先生が今御担当の大臣でもあろうかと思っておりますので、都としましてまた国に対しての呼び掛け、市と都と両方からの呼び掛けということが続けていければと思っております。よろしいでしょうか。

○行政部長 石森市長、いかがでしょうか？

○八王子市長 まずぜひ、日本遺産につきましても、もうこれはオリンピック前までに 100 か所認定しようということでスタートして、東京都内でもいくつか認定を目指していたようでありまして、なかなか認定されずに現在までできてます。

我々が申請するのは、これはラストチャンスだというように思っておりまして、もう既に東京都の皆さん方からもいろんな御支援いただいておりますけれども、東京都から 1 つも日本遺産がないというのも問題だと思っておりますので、ぜひ引き続き御協力をお願いできればと思っております。

○行政部長 では最後に知事の方から一言、お願いいたします。

○知事 オリンピック前までにとお尻が決まっているということでございますので、改めて国の方にしっかりと要望していきたいと考えております。

また、今後この長期戦略について、八王子の御意見を引き続き伺ってまいるチャンスもあると思っておりますので、今度ともどうぞよろしくお願いをいたします。今日はわざわざありがとうございました。

○行政部長 では意見交換を終わらせていただきます。ありがとうございました。